

日邦産業株式会社 (9913 JP)

FY25 全社通期予想は据置きとする一方、セグメント収益内訳は修正。

エグゼクティブサマリー

➤ FY25 上期決算

日邦産業株式会社が発表した FY25 上期決算は、売上高 22,186 百万円（前年同期比 0.3%増）、営業利益 946 百万円（同 12.8%増）となり、過去最高益を更新した。エレクトロニクスセグメントが減収となったことにより（前年同期比 3.3%減）、上期の売上高は前年同期比で横ばいとなったものの、営業利益は（1）研磨用キャリアなどの自社製品の堅調な伸び、（2）海外工場のコスト削減を主な要因として半期ベースで過去最高となった。

➤ FY25 業績予想

FY25 は同社の中期経営計画の最終年度に当たる。同社は通期予想を据え置きとしたが、セグメント別利益の構成は以下のように見直された。【1】モビリティセグメントの通期営業利益は 1,400 百万円（前年比 20.7%増）から 1,250 百万円（同 7.8%増）に修正された。セグメント売上予想は 17,000 百万円から変更はない。特に中国における日系自動車メーカーの販売不振等により、マイナス影響が継続する見込み、【2】医療・精密機器セグメントの通期利益予想は 400 百万円から 550 百万円に修正された。売上予想は据え置き。引き続き原価低減による効果を見込む。エレクトロニクスセグメントは変更なし。

➤ 株主還元

50%を目途とする配当性向を目指すという同社の株主還元政策に基づき、同社は FY25 に一株当たり 78 円の配当（配当性向 50.3%）を予定している。

➤ 買収防衛策

同社は 6 月開催の定時株主総会において、「買収への対応方針」を継続することを決議した。同方針は 2026 年 6 月の株主総会終結時まで有効となる。

➤ 次期中期経営計画

次期中期経営計画の詳細はまだ開示されていないが、同社は長期戦略において、次期中期経営計画を「更なる事業領域の拡充により一段高い成長を規模と収益の両面において実現する期間」と位置付けている。同社は効率的なバランスシートの管理を通して来年度も PBR1 倍の達成を継続し、利益率を向上することを目指す。

Nippo Ltd. (9913 JP): Share Information						
Market Cap (¥mil)		24,400	Market Cap (\$mil)		157	
22-day Average Trading Volume (¥mil)		3.0	22-day Average Trading Volume (\$mil)		0.02	
Share performance (%)	9913	TOPIX	Earnings Summary (¥mil, %)	FY23	FY24	FY25 CE
Share price (¥, 26 Nov 2025)	2,680	3,355.50	Sales	41,922	44,890	45,500
3mo (from 26 Aug)	2.9	9.2	OP	1,918	1,970	2,000
6mo (from 26 May)	16.5	21.9	OPM (%)	4.6	4.4	4.4
YTD (from 6 Jan 2025)	27.3	21.6	EBITDA	3,362	3,510	3,500*
1yr	27.1	24.8	EPS (¥)	162.8	155.15	155.16
5yrs	444.7	87.8	Financial Leverage (X)	2	1.9	1.9*
Per-share and Valuations	9913	TOPIX	Net D/E Ratio (X)	-0.2	-1.1	-1.0*
EPS (¥, FY25 CE)	155.16	189.76	FCF	2,124	1,093	1,100*
DPS (¥, FY25 CE)	78.0	N/A	Shareholder Return Summary	FY23	FY24	FY25 CE
BPS (¥, FY25 EST*)	897.7	N/A	Dividend (¥)	74	76	78
FCFPS (¥, FY25 EST*)	1,100	N/A	Dividend Payout (%)	45.5	49	50.3
Forward PER (X)	17.3	17.0	Dividend Yield (%)	N/A	N/A	2.1
PBR (x)	3.0	1.6	DOE (%)	4.8	4.4	5.4*
PCFR (x)	2.4	N/A	Treasury Shares (%)	0.2	0.2	0.2*
EV/EBITDA (X)	N/A	N/A	ROE (%)	9.8	8.4	10.8*
Source: Nippon-IBR based on data on Bloomberg and Toyo Keizai / * Nippon-IBR estimates						

FY25 上期決算

同社が発表した FY25 上期決算は、売上高 22,186 百万円（前年同期比 0.3%増）、営業利益 946 百万円（同 12.8%増）となり、過去最高益を更新した。エレクトロニクスセグメントが減収となったことにより（前年同期比 3.3%減）、上期の売上高は前年同期比で横ばいとなったものの、営業利益は以下を要因として半期ベースで過去最高となった。

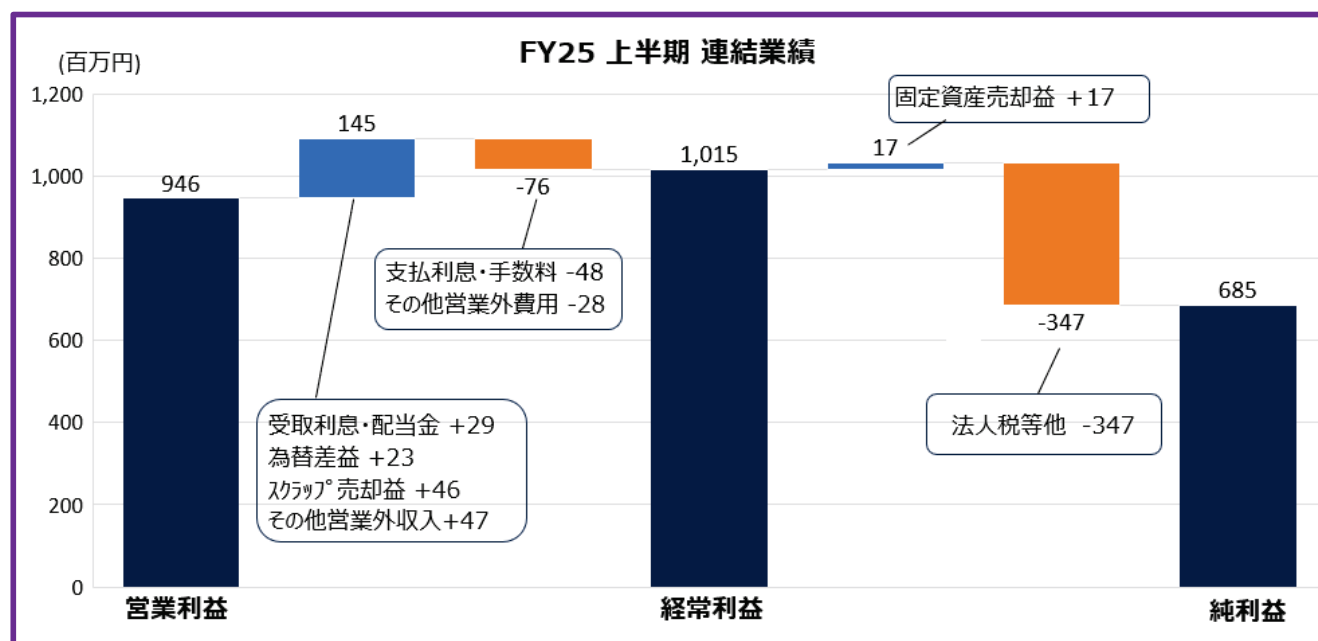
- 1) 半導体向けウエハ研磨用キャリアなどの自社製品の堅調な伸び
- 2) 海外工場のコスト削減

しかしモビリティセグメントの利益未達により、上期営業利益は予想（2,000 百万円）の 47.3%に留まった。上期経常利益は、受取利息および受取配当金（+29 百万円）、為替差益（+23 百万円）、およびスクラップ売却益（+46 百万円）などの営業外収益により、前年同期比 3.7%増の 1,015 百万円に改善した。

日邦産業 (9913 JP): 業績サマリー										
(百万円)	FY24				FY25					
	Q1	Q2	上期	通期	Q1	YoY (%)	Q2	YoY (%)	上期	YoY (%)
売上高	10,839	11,277	22,116	44,890	11,109	2.5	11,077	-1.8	22,186	0.3
売上原価	9,102	9,384	18,486	37,327	9,190	1.0	9,157	-2.4	18,347	-0.8
売上総利益	1,737	1,892	3,629	7,563	1,919	10.5	1,919	1.4	3,838	5.8
GPM (%)	16.0	16.8	16.4	16.8	17.3	+1.2ppt	17.3	+0.5ppt	17.3	+0.9ppt
販管費	1,392	1,397	2,789	5,592	1,464	5.2	1,428	2.2	2,892	3.7
SG&A/Sales (%)	12.8	12.4	12.6	12.5	13.2	+0.3ppt	12.9	+0.5ppt	13.0	+0.4ppt
営業利益	344	495	839	1,970	454	31.8	492	-0.6	946	12.8
OPM (%)	3.2	4.4	3.8	4.4	4.1	+0.9ppt	4.4	+0.1ppt	4.3	+0.5ppt
経常利益	446	533	979	2,105	497	11.4	518	-2.8	1,015	3.7
当期純利益*	284	388	672	1,396	343	20.5	342	-11.9	685	2.1

Source: Nippon-IBR based on Nippo's earnings results materials

* 親会社株主に帰属する当期純利益



Source: Nippon-IBR based on Nippo's earnings results materials

日邦産業 (9913 JP): セグメント別業績推移 (四半期ベース)											
(百万円)		FY24				FY25					
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YoY (%)	Q2	YoY (%)	上期	YoY (%)
エレクトロニクス	売上高	5,081	5,345	5,301	5,111	4,866	-4.2	5,215	-2.4	10,081	-3.3
	営業利益	404	424	411	293	400	-1.0	427	0.7	827	-0.1
	OPM (%)	8.0	7.9	7.8	5.7	8.2	+0.2ppt	8.2	+0.3ppt	8.2	+0.3ppt
モビリティ	売上高	4,067	4,172	4,383	4,222	4,423	8.8	4,097	-1.8	8,520	3.4
	営業利益	179	289	403	289	211	17.9	264	-8.7	475	1.5
	OPM (%)	4.4	6.9	9.2	6.8	4.8	+0.4ppt	6.4	-0.5ppt	5.6	-0.1ppt
医療・精密機器	売上高	1,734	1,810	1,988	1,887	1,845	6.4	1,788	-1.2	3,633	2.5
	営業利益	79	103	134	80	178	125.3	170	65.0	348	91.2
	OPM (%)	4.6	5.7	6.7	4.2	9.6	+5.0ppt	9.5	+3.8ppt	9.6	+4.5ppt
Source: Nippon-IBR based on Nippo Sangyo's earnings results materials											

日邦産業 (9913 JP): セグメント別業績推移 (累計ベース)									
(百万円)		FY24				FY25			
		Q1	上期	Q3	通期	Q1	上期	YoY (%)	HoH (%)
エレクトロニクス	売上高	5,081	10,426	15,727	20,838	4,866	10,081	-3.3	-3.2
	営業利益	404	828	1,239	1,532	400	827	-0.1	17.5
	OPM (%)	8.0	7.9	7.9	7.4	8.2	8.2	+0.3ppt	+1.4ppt
モビリティ	売上高	4,067	8,239	12,622	16,844	4,423	8,520	3.4	-1.0
	営業利益	179	468	871	1,160	211	475	1.5	-31.4
	OPM (%)	4.4	5.7	6.9	6.9	4.8	5.6	-0.1ppt	-2.4ppt
医療・精密機器	売上高	1,734	3,544	5,532	7,419	1,845	3,633	2.5	-6.2
	営業利益	79	182	316	396	178	348	91.2	62.6
	OPM (%)	4.6	5.1	5.7	5.3	9.6	9.6	+4.5ppt	+4.1ppt
Source: Nippon-IBR based on Nippo Sangyo's earnings results materials									

FY25 業績見通し

FY25 は同社の中期経営計画の最終年度に当たる。同社は通期予想を据え置きとしたが、セグメント別利益の構成は以下のように見直された。

- 【1】モビリティセグメントの通期営業利益は 1,400 百万円 (前年比 20.7%増) から 1,250 百万円 (同 7.8%増)に修正された。セグメント売上予想は 17,000 百万円から変更はない。特に中国における日系自動車メーカーの販売不振等により、マイナス影響が継続する見込み。
- 【2】医療・精密機器セグメントの通期利益予想は 400 百万円から 550 百万円に修正された。売上予想は据え置き。引き続き原価低減による効果を見込む。
- 【3】エレクトロニクスセグメントは変更なし。

同社は FY25 通期予想を売上高 45,500 百万円 (前期比 1.4%増)、営業利益 2,000 百万円 (同 1.5%増) と予想し、さらなる最高益更新を目指す。

- 1) **米国の関税政策の影響による不確実性**：同社は具体的な事業への影響を見通せずにいるが、慎重な姿勢を継続する。
- 2) **エレクトロニクスセグメント**：スマートフォン関連部材の回復が鈍化しているが、生成 AI 関連の半導体パッケージ基板用の配線板材料の受注が継続して堅調に推移する。加えて好調な沖縄工場の半導体向けウエハ研磨キャリアがセグメント売上を牽引する。
- 3) **モビリティセグメント**：日系自動車メーカーの販売不振等による影響が継続する。
- 4) **医療・精密機器セグメント**：プリンター関連部品の見通しがしづらい状況はあるものの、医療機器部品の需要は引き続き堅調。

50%を目途とする配当性向を目指すという同社の株主還元政策に基づき、同社は FY25 に一株当たり 78 円の配当 (配当性向 50.3%) を予定している。

日邦産業 (9913 JP): 業績サマリーおよび見通し							
(百万円)	FY23		FY24		FY25		
	上期	通期	上期	通期	上期	通期 (予)	YoY (%)
売上高	20,215	41,922	22,116	44,890	22,186	45,500	1.4
売上原価	16,696	34,751	18,486	37,327	18,347	N/A	N/A
売上総利益	3,518	7,170	3,629	7,563	3,838	N/A	N/A
GPM (%)	17.4	17.1	16.4	16.8	17.3	N/A	N/A
販管費	2,578	5,252	2,789	5,592	2,892	N/A	N/A
SG&A/Sales (%)	12.8	12.5	12.6	12.5	13.0	N/A	N/A
営業利益	939	1,918	839	1,970	946	2,000	1.5
OPM (%)	4.6	4.6	3.8	4.4	4.3	4.4	+0.0ppt
経常利益	1,097	2,150	979	2,105	1,015	1,950	-7.4
当期純利益*	755	1,457	672	1,396	685	1,400	0.2

Source: Nippon-IBR based on Nippo's earnings results materials

* 親会社株主に帰属する当期純利益

FY25 セグメント別業績予想

エレクトロニクスセグメント

エレクトロニクスセグメントでは収益の堅調な伸びを見込み、売上高 21,200 百万円（前期比 1.7%増）、営業利益 1,600 百万円（同 4.4%増）を予想する。予想の背景には以下のものがある。

- 1) 生成 AI 関連の半導体パッケージ基板用配線板材料の需要が引き続き好調となる。
- 2) 半導体向けウエハ研磨用キャリアの受注が堅調に推移する。
- 3) スマートフォン関連部材の回復は第 3 四半期以降も先行き不透明である。

モビリティセグメント

モビリティセグメントでは FY25 売上高予想の 17,000 百万円（前期比 0.9%増）を据え置いたのに対して、営業利益予想を 1,400 百万円（同 20.7%増）から 1,250 百万円（同 7.8%増）に下方修正した。米国の関税政策の影響が見通せないことに加え、中国における日系自動車メーカーの販売不振等による影響が収益の足かせとなる見込みである。第 3 四半期以降、ベトナム工場および稲沢工場の新規量産にかかる歩留まり改善が見込まれるものの、上期までのマイナス影響の相殺には至らないと見られる。

医療・精密機器セグメント

医療・精密機器セグメントでは、原価低減活動の効果が予想以上に奏功し、FY25 売上高予想 7,500 百万円（前期比 1.1%増）に対して営業利益予想を 400 百万円（同 1.0%増）から 550 百万円（同 38.9%増）に上方修正した。プリンターメーカーの生産計画の変動によりプリンター関連部品の受注見通しは引き続き不透明で、同社は慎重な見方を維持している。タイ（コラート）工場の医療機器部品の受注が継続してセグメント収益を牽引すると見られる中、同社は事業ポートフォリオの入替えや原価低減活動を引き続き注力する。

日邦産業 (9913 JP): セグメント別業績推移と見通し									
(百万円)		FY24		FY25					
		上期	通期	上期	YoY (%)	旧 通期 (予)	YoY (%)	新 通期 (予)	YoY (%)
エレクトロニクス	売上高	10,426	20,838	10,081	-3.3	21,200	1.7	21,200	1.7
	営業利益	828	1,532	827	-0.1	1,600	4.4	1,600	4.4
	OPM (%)	7.9	7.4	8.2	+0.3ppt	7.5	+0.1ppt	7.5	+0.1ppt
モビリティ	売上高	8,239	16,844	8,520	3.4	17,000	0.9	17,000	0.9
	営業利益	468	1,160	475	1.5	1,400	20.7	1,250	7.8
	OPM (%)	5.7	6.9	5.6	-0.1ppt	8.2	+1.3ppt	7.4	+0.5ppt
医療・精密機器	売上高	3,544	7,419	3,633	2.5	7,500	1.1	7,500	1.1
	営業利益	182	396	348	91.2	400	1.0	550	38.9
	OPM (%)	5.1	5.3	9.6	+4.5ppt	5.3	-0.0ppt	7.3	+2.0ppt
Source: Nippon-IBR based on Nippo Sangyo's earnings results materials									

現中期経営計画の資本政策

FY25 に完結する現中期経営計画では、以下の資本政策を掲げている。

- 運転資金の適正規模および現預金の金額（残高）を必要に応じて見直す。
- フリーキャッシュフローおよび借入金を原資に、6,000 百万円を、1) 人的資本、2) 新事業、3) 現行事業の機能強化、等に投資する。
- 運転資金は約 4,000 百万円とする。
- 有利子負債は約 7,400 百万円まで拡大する。
- 株主還元 to 約 2,000 百万円を充て配当性向は 50%を目途とする。

買収への対応方針

同社は、2025 年 6 月 24 日の第 74 期定時株主総会において、2019 年 4 月より導入した「当社株式等の大規模買付行為に関する対応方針（買収への対応方針）」を継続することを提起し、継続は同株主総会で決議された。同方針は 2026 年 6 月の株主総会終結時まで有効となる。

中長期的な企業価値向上に向けた事業戦略

同社は、「長期経営目標 2031」を先に公表している。基本方針は以下のとおり。

- 1) メーカー事業の売上構成比率を現在の 50%から 67%へ高める。
- 2) 新セグメントとして Eco プロダクツ事業を立ち上げる。
- 3) ネット D/E レシオ 0.6 倍以内で、積極的に成長投資と人的資本投資を行っていく。

次期中期経営計画の詳細はまだ開示されていないが、同社は長期戦略において、次期中期経営計画を「更なる事業領域の拡充により一段高い成長を規模と収益の両面において実現する期間」と位置付けている。同社は効率的なバランスシートの管理を通して来年度も PBR1 倍の達成を継続し、利益率の向上を目指す。

GENERAL DISCLAIMER AND COPYRIGHT

This report has been commissioned by Nippo Ltd. (the Sponsor) and prepared and issued by Nippon Investment Bespoke Research UK Ltd (Nippon-IBR), in consideration of a fee payable by the Sponsor. Fees are paid on delivery of the report in cash without recourse. Nippon-IBR may seek additional fees for the provision of follow-up research reports and associated IR services for the client but does not get remunerated for any investment banking services. We never take payment in stock, options, or warrants for any of our services.

Accuracy of content: All information used in the publication of this report has been compiled from publicly available sources that are believed to be reliable, however Nippon-IBR does not guarantee the accuracy or completeness of this report and has not sought for this information to be independently verified. Opinions contained in this report represent those of the Nippon-IBR analyst at the time of publication. Forward-looking information or statements in this report contain information that is based on assumptions, forecasts of future results, estimates of amounts not yet determinable, and therefore involve known and unknown risks, uncertainties and other factors which may cause the actual results, performance, or achievements of their subject matter to be materially different from current expectations.

Exclusion of Liability: To the fullest extent allowed by law, Nippon-IBR shall not be liable for any direct, indirect, or consequential losses, loss of profits, damages, costs, or expenses incurred or suffered by you arising out of or in connection with the access to, use of or reliance on any information contained on this note.

No personalised advice: The information that we provide should not be construed in any manner whatsoever as, personalised advice. Also, the information provided by us should not be construed by any subscriber or prospective subscriber as Nippon-IBR's solicitation to effect, or attempt to effect, any transaction in a security. The securities described in the report may not be eligible for sale in all jurisdictions or to certain categories of investors.

Investment in securities mentioned: Nippon-IBR has a restrictive policy relating to personal dealing and conflicts of interest. It does not conduct any investment business and, accordingly, does not itself hold any positions in the securities mentioned in this report. However, the respective directors, officers, employees, and contractors of Nippon-IBR may have a position in any or related securities mentioned in this report, subject to its policies on personal dealing and conflicts of interest.

Copyright: Copyright 2025 Nippon Investment Bespoke Research UK Ltd.

For further enquiry, please contact:

Nippon Investment Bespoke Research UK Ltd

118 Pall Mall

London SW1Y 5EA

TEL: +44 (0)20 7993 2583

Email : enquiries@nippon-ibr.com



- *Nippon Investment Bespoke Research UK Ltd (formerly known as NIB Research UK Ltd.) is registered in England and Wales (9100028) and is authorised and regulated by the Financial Conduct Authority <FRN: 928332>.*